製品安全データシート

1.製品及び会社情報

製品名称	IRグロス
MSDS コード	情報なし
製造者	Astec Paints Australia Pty Ltd
提供者	株式会社アステックペイントジャパン
住所	福岡県糟屋郡志免町別府北4-2-8
電話番号	092-626-7776
緊急連絡先	092-626-7776
推奨用途	建物の保護・遮熱

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	分類対象外	
健康に対する有害性	発がん性	区分2
環境に対する有害性	分類対象外	

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル

注意喚起語	**警　告**
危険有害性情報	発がんのおそれの疑い

注意書き

安全対策	使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 指定された個人用保護具を使用すること。
応急措置	暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
保　　管	施錠して保管すること。
廃　　棄	内容物/容器を現地/地域/国家/国際の規則に従って廃棄すること。

ＧＨＳ分類に該当しない他の危険有害性	情報なし
重要な徴候	情報なし
緊急事態概要	情報なし
国/地域情報	情報なし

3. 組成、成分情報

単一物質/ 混合物	混合物
化学名又は一般名	IRグロス
同義語	-

成分名	CAS NO.	含有量(wt%)	EINECS NO.
(1)アクリル共重合体	非危険物	38-45	-
(2)二酸化チタン	13463-67-7	15-30	236-675-5
(3)非晶質アルミノシリケート	1327-36-2	15-20	-
(4)プロピレングリコール	57-55-6	2-7	200-338-0
(5)ムライト	1302-93-8	5-10	215-113-2
(6)無機マイクロフィラー	混合物	40-55	-

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所へ移動し安静にすること。
皮膚に付着した場合	十分な水と石鹸で汚れを洗い落とす。汚染された衣服を脱ぎ、再使用の前に洗濯する。
目に入った場合	直ちに大量の清浄な水で15分以上洗い流すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。刺激が残る場合は医師の診断を受けること。
飲み込んだ場合	誤って飲み込んだ場合は直ちに医師の診断を受けること。被災者に意識のない場合には口から何も与えてはならない。
最も重要な兆候及び症状	情報なし
応急措置をする者の保護	情報なし
医師に対する特別な注意事項	情報なし

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
火災時の特有危険有害性	温度が100°C/212°F以上になると、材料が飛散する可能性がある。重合体塗膜は燃焼する可能性がある。
特有の消火方法	なし
消火を行う者の保護	適切な空気呼吸器、防護服（耐熱性）を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	作業者は適切な保護具（８の項を参照）を着用する。第三者を近づけないようにする。床が滑りやすくなっている可能性があり、転ばないように注意する。
環境に対する注意事項	流出物と洗浄水が公共下水や開水系に流れ込まないようにする。廃棄情報は１３の項をご参照ください。
回収、中和	作業の際には必ず保護具（８の項を参照）を着用する。溝を設けて流出物を不活性材料（砂、土など）で囲む。液は容器に移して回収または廃棄し、溝設置に使用した固形材料は別の容器に移して廃棄する。
二次災害の防止策	情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策	８の項に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気・全体換気	８の項に記載の局所排気、全体換気を行う。
注意事項	上記のように配合した二酸化チタンには、乾燥塗膜をサンドブラストやグラインダ研磨しない限り、粉塵による危険はない。
安全取扱い注意事項	使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 指定された個人用保護具を使用すること。 暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断/手当てを受けること。
保管	
技術的対策	情報なし
適切な保管条件	施錠して保管すること。 保存温度：最高60°C/140°F　　最低1°C /34°F
安全な容器包装材料	20Lペール缶　4Lプラスチック容器
混触禁止物質	情報なし
注意事項	情報なし

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	換気装置をつけて、局所排気を行なうこと。
許容濃度	
日本産衛学会(2009年)	設定なし
ACGIH(2009年)	(2)：TWA 10 mg/m^3
保護具	
呼吸器の保護具	暴露限界を超える場合、呼吸マスク（MSHA/NIOSH承認またはそれに相当するもの）を着用すること。
手の保護具	不浸透性保護手袋
目の保護具	薬液飛沫防止ゴーグル（ANST 7-87 1 OR承認またはそれに相当するもの）
皮膚及び身体の保護具	必要なし
衛生対策	取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。

9. 物理的及び化学的性質

外観	白色液体
臭い	**無臭**
PH	情報なし
融点	可変
沸点（初留点）	可変
引火点	適用外
燃焼性（固体、ガス）	—
爆発範囲（上限・下限）	適用外
蒸気圧	1 mmHg以下
比重	1.01～1.158
蒸気密度**(**空気**=1)**	1以上
蒸発速度	情報なし
密度（水＝１）	1以上
溶解度	水で希釈可
オクタノール・水分配係数	情報なし
分解温度	情報なし
その他	粘性：110～130KU（25℃） 凝固点：可変

10. 安定性及び反応性

化学安定性	通常の条件下で安定である。
重合反応可能性	発生しない。
避けるべき条件	177°C/350°F以上の高温
避けるべき物質	適用外
危険有害な分解生成物	熱分解により、炭素、二酸化炭素が発生する。
その他	情報なし

11. 有害性情報

過剰暴露の影響は､同類材料に関する情報および本製品に使用した溶剤の毒性プロフィールを基にする。

急性毒性**(**経口**/**経皮**/**吸入**)**	
経口	データなし
経皮	データなし
吸入	データなし
皮膚腐食性/刺激性	繰り返しまたは長時間接触すると、皮膚に刺激性がある。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	眼に中程度の刺激性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	蒸気や噴霧は鼻、のど、肺を刺激し、頭痛や吐き気を起こす可能性がある。
生殖細胞変異原性	情報なし

発がん性	(2) : IARCで超微粒酸化チタン（粒径10-50nm)を以ってグループ2Bに分類されている(IARC Monograph Vol.93, in preparation)　ことより区分２とした。なお、ラットおよびマウスを用いた103週間の混餌投与試験では、両動物種とも本物質に発がん性はないと結論されている（NTP TR No.97(1979)）が、ラットおよびマウスを用いた超微粒酸化チタンの吸入ばく露により、マウスで認められなかった肺腫瘍の発生増加がラットでは認められたとしている（PATTY (5th, 2001)）。一方、ヒトの場合は複数の症例報告あるいは疫学調査の結果により、本物質との関連を示す明確な証拠は示されていない（IARC 47 (1989)、ACGIH (2001)、HSDB (2005)）。
生殖毒性	情報なし
STOST-単回暴露	情報なし
STOST-反復暴露	情報なし
吸引性呼吸器有害性	情報なし
その他	情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性	この製品は水性アクリルが含まれる。環境に対して毒性弱い。
残留性及び分解性	情報なし
潜在的生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
他の有害影響	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。塩化第二鉄と石灰を段階的に加えて凝固させる。透明な上澄み液は除去して薬品下水に流す。固形物と溝設置に使用した汚染材料は関係法規に基づいて処置すること。
汚染容器及び包装	空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際法規	
国連分類	該当しない
国連番号	該当しない
国連品名	該当しない
容器等級	該当しない
海洋汚染物質	該当しない
輸送注意事項	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。 重量物を上積みしない。

国連の「危険物輸送に関する勧告　モデル規則」第１５改訂版、「国際海上危険物規則」2010版、IATA「危険物規則書」第52改訂版により、危険性を判断し、分類した結果：この製品は危険物ではなく、通常の貨物として包装や輸送することができる。

15. 適用法令

(2)二酸化チタン（**CAS：13463-67-7**）：

労働安全衛生法：	名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第５７条の２、施行令第１８条の２別表第９）（政令番号：9-191）
海洋汚染防止法：	有害液体物質（Ｚ類物質）（施行令別表第１）

16. その他の情報

作成日:	2011-5-23
説　明:	本データシートは、作成時または改訂時において、製品およびその組成に関する最新の情報（危険有害性情報・取扱い情報等）を集めて作成しておりますが、全ての情報を網羅したものではなく、新たな情報を入手した場合には追加・修正を行い改訂いたします。また本データシートに記載のデータは、その製品を代表する値であり、保証値ではありません。本製品を当社が認めた材料以外のものと混合、当社が認めた仕様以外の特殊な条件で使用する場合には、使用者において安全性の確認を行ってください。